

TOPIC



エコラインに お答えします

バス停のベンチに関する 質問

Q 「新成田」バス停・大久保方面側にベンチを設置して欲しいです。

【采在住者】

A 路線バスを中心とした公共交通の利用促進を図るため、ふるさと納税を活用して町内のバス停にベンチの設置を進めていきます。

ベンチの設置条件に「歩行者が通行できるよう、十分な歩道幅を確保すること」があり、歩行者や車イスの妨げとなる場所には法令上、ベンチを設置することができません。

そのため、「新成田」バス停は、十分な歩道の幅が確保できないことから、ベンチを設置することができません。

今後、このような幅員の狭い歩道における利用者の利便性向上のため、どのような対策がで

きるかを引き続き検討したいと思えます。

なお、町を運行する路線バスは、バスロケーションシステム(QRコード)を活用して、スマートフォンや携帯電話などで近接情報や到着時刻が確認できますので、バスの待ち時間軽減にご利用ください。



問合せ／新市街地整備室

交通や道路に関する質問

Q ①交通事故が起りやすい交差点の改良、②狭い道路での小学生の通学路の確保、③国道1号線と府道八幡宇治線、森交差の交通の改善(東西信号の改良)をして欲しいです。

【中島在住者】

A ①道路施設の改善を目的に警察署と道路の管理者(町道であれば町)が現場で立ち会って検証を行い、その結果をもとに道路施設の改良工事などを行うことで事故の起りにくい道路環境をめざしています。

②ドライバーに通学路を認識して注意して走行してもらい、通学時の安全を高めることなどを目的に、小学校の通学路に順次グリーンベルトを設置しています。

しかし、元々道路幅員が狭い場所は、小学生が通行するグリーンベルトの幅も狭くなってしまうと、ご理解のほどよろしくお願ひします。

③同内容の通報を以前から受けており、信号の所管は公安委員会であることから警察署とおして、改善の要望を行っています。より安全な交差点となるよう、引き続き要望を行います。

問合せ／都市整備課



Q 条例を制定するなど、荒廃農地をなくすための対策をして欲しいです。

【中島在住者】

A 荒廃農地の早期発見のため、毎年農業委員、農地利用最適化推進委員が「農地法」に基づく農地パトロールを実施しています。

発見した荒廃農地は、除草指導や今後の農地利用の意向調査を実施し、担い手農家へのあっせんなどを行っています。

荒廃農地に関する条例を制定する予定はありませんが、今後も荒廃農地の解消に努めたいと考えています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。

問合せ／農業委員会事務局
(産業課内)

